



海外に早くから渡った日本の根付（ねつけ：印籠や煙草入れの紐の根につけ、紐を腰帯に挟んだ時に落ちないようにしたもの。）の研究者、ミセス、テリー・パーブラ・オカダ。根付は概して小形で材質は木、竹、甲角、金属など種々であり、これに人物、動物、器物などさまざまな形を彫刻した、技巧すこぶる細妙なものですので世界にも日本の小彫刻品としてよく知られています。ミセス・オカダは愛らしい根付の研究者らしく、御自身もユーモアのある楽しいお人柄。三年程前から当館の友人となられ、現在、米国エール大学の博士課程に在学中です。（写真下は名品展にも出陳される当館の根付。）

有朋自遠方来



季刊 美のたより No.43

昭和53年 7月1日

発行 大和文華館